

令和3年度使用 中学校社会科（歴史的分野）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜課題解決の流れに沿った構成について（「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができているか）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○章の初めに小学校の学習の振り返りとグループによる協働学習が設定され、単元を貫く「探究課題」を立てて、それを受けた節の課題、1時間単位で学習する課題が示され、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。 ○章末の「まとめ活動」では様々な思考ツールを使って、時代の特色を自分の言葉でまとめることができるように工夫されている。 ○見開き1時間のまとめが、2段階（チェック&トライ）になっており、学習内容の定着が確実にできるように工夫されている。 <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「スキルアップ」では、情報を集めたり、資料を読み取ったり、まとめたりする活動を通して、基礎的・基本的な技能が身に付けられるように工夫されている。 ○歴史的な見方・考え方を活用して資料を読み取り、学習を深めるためのコーナーが設けられている。
教育出版	<p>＜「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができているか」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の初めの「学習を始めよう」において、学習する時代のイメージをつかみ、前の時代との違いを予想できるよう写真やイラスト資料が紹介され、読み解くことができるよう配慮されている。 ○1単位時間のまとめとして、「確認と表現」が設けられ、「確認」ではこの時間で学習したことを振り返り、「表現」では、学習してきた内容を活用し、自分の言葉で表現することができるようになっている。 <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「歴史の技」では、地図の活用、系図の読み取り、絵巻物を読み解くなど、歴史学習の基本的な技能を身につけるコーナーが設けられている。 ○見開き上部の導入資料に、資料を読み解くヒントを吹き出しにして提示しており、生徒の興味・関心を高める工夫をしている。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○視点を変えて、学習内容を捉え直すコーナー（「歴史の窓」）を設けて、生徒の多面的・多角的に思考を促す工夫をしている。
帝国書院	<p>＜「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができているか」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章・節・見開きに問いと振り返りを設け、それぞれの中で見通し、振り返り学習ができるようになっている。 ○「章の学習を振り返ろう」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、自分の考えを整理し、話し合い活動を通して、自分の言葉でその時代の特色をまとめる構成になっている。 <p>＜「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の特色（政治・経済・文化）をつかめるイラスト「タイムトラベル」が設けられ、視覚的にその時代をイメージできるよう工夫されている。 ○写真や絵が大きく見やすく、文献資料なども効果的に配置されており、資料を使って授業がしやすいように工夫されている。

	<p><その他></p> <p>○年表のインデックスがページの右側あり、どの時代を学習しているか一目でわかり、巻末の世界史年表と対応させると世界との対比ができるように工夫されている。</p>
山川出版社	<p><「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができてきているか」について></p> <p>○各章の導入で、世界史と日本史を並列させた年表と写真資料が示され、視覚的に流れをつかむことができるように工夫されている。</p> <p>○各章末のまとめで、歴史的な見方・考え方（推移・比較・時期/年代・関連）を働かせる発問が用意され、各時代の流れ・特徴を深く確認できるように工夫されている。。</p> <p>△専門的な記述も見られ、文章量も多い。そのため、フォントが小さい。記述内容も中学生にはやや難しいと思われるところがある。</p> <p><「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について></p> <p>○写真やイラスト資料、文献史料が豊富であり、資料に関連して考えてほしい課題が設けられ、生徒の思考を助けるための工夫が見られる。</p> <p>○「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」では、美術作品や史料を読み解く力を育てる発展的な課題を追究できるよう工夫されている。</p>
日本文教出版	<p><「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができてきているか」について></p> <p>○各時代の導入では、年表や世界地図を使った時間軸と空間軸から時代を概観し、学習の「めあて」を明示して学習の見通しをもてるように工夫されている。</p> <p>○見開きの学習課題の下に設けられた「見方・考え方」では、学習課題の解決に向けた手がかりが示され、「深めよう」では、問いを通して学習課題の理解が深められるように工夫されている。</p> <p><「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について></p> <p>○各時代の文化史については、見開き左は資料の掲載を行い、左側に文章、その他資料を載せるなど、資料集を使わずに学習が進められるよう構成されている。</p> <p>○見開きの出来事がどの順で起きたかを確認するための「小年表」が必要に応じて設けられ、出来事を時系列でとらえやすくする工夫がみられる。</p> <p>△見開きのレイアウトにおいて、資料の配置の仕方が異なっている箇所があるので、全体を通して統一した方が使いやすい。</p>
育鵬社	<p><「課題を『つかむ』『調べる』『まとめる』活動がわかりやすく、自分の言葉でまとめる流れができてきているか」について></p> <p>○章の冒頭の「歴史絵巻」において時代を大観させ、「○○の世界へようこそ」で、各時代の特色をつかむための設問を設けて、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p>○「『私の歴史博物館』をデザインしてみよう」では、展示方法を考えることで、資料からさまざまな情報を調べ、まとめられるよう工夫されている。</p> <p>△単元を貫く課題・節の課題は明記されておらず1単位時間での課題しか提示されていないので、単元・節で追究する課題が設けられているとよい。</p> <p><「資料を読み取る力を身に付けさせる上で資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切か」について></p> <p>○「史料の読み方」というコーナーを設けて、資料を読み解く技能を育てるための工夫がみられる。</p> <p>○資料の部分拡大や実寸サイズの写真、資料を読み解く着眼点を写真や絵画の中に番号をつけるなど、生徒の興味・関心を高めたり、思考を助けたりするための工夫がみられる。</p>